

毎月19日は「食育の日」です！

～みんなでできることから取り組みましょう。～

さくらがおか保育園では、四季を通じて野菜の栽培や収穫体験を行い、また給食を通して子どもたちに「食の大切さ」を伝えています。



夏のたなばた会

七夕の時期には、食育にまつわる七夕飾りを作りました。様々な食材のイラストの裏には、栄養のポイントを記載。子どもが「食べもの短冊」に興味を持つことで、親子で食育を体感することができました。給食も四季や行事にまつわるものを提供しています。

秋のやきいも会

秋には、保育園で育てたさつまいもで焼き芋会をしました。土の中から大きな芋が出てくると、子ども達からは大歓声！

焼き芋は、とっても甘く「おかしみたいだね。」と子どもたちも大喜びです。さつまいもの蔓はクリスマスのリースにして、食材を余すことなく使用しました。



冬野菜の栽培と収穫

今年は初めて冬野菜にも挑戦しました。教室から見える場所に植えたため、葉っぱが育っていく様子を窓からチェック。外で遊ぶ前に雑草を抜き、あおむし退治をするのが子ども達の日課となりました。子ども達の努力のおかげで、立派な大根やキャベツ、白菜が収穫できました。

盛岡市では、平成30年3月に第三次盛岡市食育推進計画を策定し、毎月6月と10月を「もりおか食育月間」、毎月19日を「食育の日」と制定しています。
「食育で進めるもりおかの豊かな暮らしと健康づくり」を目標として市民総参加の食育を推進しています。